特集2

## 小中学生オーストラリア短期研修

# 世界にはばたけ！香美市の子どもたち

香美市では、これからの時代をより良く生きるため、他国と自国の文化への相互理解を深め、国際的視野をもった子どもたちの育成を目指し、外国語教育の推進に取り組んでいます。

その教育活動の一環として、平成29年度より、オーストラリアのアデレード市イマニュエル小学校との交流が始まりました。アデレードは、治安が良いことに加え、山・海などの自然、教育文化が充実している都市です。さらに、日本との時差が30分（夏のみ1時間30分）と少ないため、インターネットなどを介して、日常的に学校の授業でも交流をすることができます。

イマニュエル小学校は、児童数約500人のキリスト教の学校です。また世界基準の教育を提供する『国際バカロレア教育』の認定校でもあります。子どもたちは、日本語が第2外国語になっており、日本語や日本の社会・文化などについて学習しています。

今年度は、6月11日～18日の8日間の日程で、香美市内の小中学生12人が、アデレードで短期研修を行いました。

今回は、子どもたちの感想文を紹介して、短期研修でどのように過ごし、感じ、成長できたのかを、報告いたします。

みんなで記念撮影

### アデレード到着

6月11日に高知龍馬空港を出発し、乗り継ぎ時間を含め、20時間余りで、初秋のアデレード空港に降り立ちました。前日までの嵐のような天候とはうって変わり、私たちを歓迎するかのような青空でした。教頭先生と日本語教室の先生の出迎えを受け、その後、バスで学校へ移動。歓迎のお茶会で、おいしいオーストラリアのお菓子とイマニュエル小学校の先生やホストファミリーの温かい歓迎を受け、子どもたちの緊張もほぐれていきました。

### 学校での生活

学校では、算数、日本語、体育、演劇などの授業に参加したり、幼稚園から6年生までのクラスを訪問しました。英語漬けの日々でしたが、周囲の子どもたちの優しく、親切なサポートにより、香美市の子どもたちも日を経るごとに学校生活に馴染んできました。

2日目には、学校の敷地内にあるチャペルで、全校園児、児童、教職員など大勢の前で香美市を紹介する機会をもらい、プレゼンテーションを行いました。物部川、ゆず、日曜市、龍河洞、アンパンマンなど、香美市の自慢を、一人一人が英語で紹介しました。イマニュエルの子どもたちは、大変興味深々な様子でした。たくさんの拍手をもらった子どもたちは、ほっとするとともに、達成感を感じていました。

### ホストファミリーとの交流

ホストファミリーには、買い物に連れて行ってもらうだけでなく、週末には、動物自然公園に出かけ、カンガルー、コアラ、ワラビーなど、オーストラリアを代表する動物たちと、自然の中で間近で触れ合う体験をした人や、別荘で乗馬体験をした人など、過ごし方はそれぞれでしたが、とても楽しい週末を過ごすことができました。

### 別れのとき

滞在最終日の昼食時には、ホストファミリーたちも集まり、お別れ昼食会がありました。ピザやフルーツを食べながら、別れを惜しみました。言葉はうまく伝わらなくても、気持ちは互いに通じ合っていました。何度も抱き合いながら別れを惜しむ様子、小さな子どもがいるファミリーでは、日本のお兄ちゃんお姉ちゃんたちが帰ってしまうことを残念がり、涙したりする様子などが見られました。

わずか4日間ではありましたが、人の温かさや、国境を超え、人と人がつながりあう喜びを感じることができる研修となりました。